

「S-GAP 実践農場」の農場評価を受けて、 農作業の効率性・安全性を高めましょう！

GAPとは「Good Agricultural Practice」の略で、直訳すると「良い農業のやり方」となります。

農業に関する法律や規則、モラルを守り、食品安全、労働安全、環境保全等に配慮した取組を行うことで、効率的で信頼性の高い持続可能な農業経営につながります。

例えば、農作業でけがをしてしまったら予定どおり作業を続けることができなくなり、最悪の場合、命を落とすかもしれません。また、農産物にガラス片などの異物が混入すれば、消費者はもちろん作業者にも危険が及びます。

GAPは、農業経営上に潜むリスクを具体的に項目化し、記録簿や掲示物によって確認・表示しながら、日々の農作業を改善することで、農作業中の事故や、自分の作る農作物に起こりうるリスクを軽減し、より良い農業経営を実現する取組です。

県では、取り組みやすく、重要な項目を網羅した独自のGAP規範である「S-GAP」を策定し、実践農場を公的に評価する制度（農場評価）を創設しました。この取組を進めるため、品目別に「S-GAPガイドブック」を作成して、農林振興センターにて配布しています。各ガイドブックには、40～50個ほどのチェック項目にそれぞれ達成水準があり、自己チェックが行えるようになっています。

S-GAPのチェック項目がすべて達成できたら、「S-GAP 実践農場」の農場評価にチャレンジしてください。農林振興センター職員がS-GAP農場評価員として、客観的にS-GAPの取組状況を確認し、アドバイスを行います。農場評価を受けることで、ご自身の農場の良い点や自己チェックでは気づかない改善点が明らかになり、農業経営を見直すきっかけとなります。

費用は無料ですので、ぜひお気軽にご相談ください。



農業は整理整頓し
適切に保管しましょう。



他者からの点検を受けると
自分では気づかない改善点も見えてきます。

東松山農林振興センターの主な業務

管理部

- ・生産振興対策
- ・農産物の安全安心対策
- ・農地中間管理事業の推進
- ・農地の転用許可事務等

TEL：0493-23-8532（地域支援担当）
0493-23-8517（農地担当）

農業支援部

- ・新規就農の支援
- ・農業法人化の支援
- ・農業の6次産業化の推進
- ・農産物の栽培技術支援等

TEL：0493-23-8582

農村整備部

- ・土地改良区運営指導
- ・多面的機能支援事業
- ・ため池の防災減災対策※
- ・県営農業農村整備事業※等

TEL：0493-23-8583
※川越農林振興センター管内実施含む

元気アップ農林業

～東松山農林振興センターだより～



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっち」

令和3年3月1日発行 第53号

発行 埼玉県東松山農林振興センター
〒355-0024 東松山市六軒町5-1
TEL 0493(23)8532 FAX 0493(22)1599
ホームページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0903/index.html>



彩の国 埼玉県 東松山農林 検索



埼玉農業大賞地域貢献部門大賞 愛澤健雄氏(嵐山町)が受賞

嵐山町でほうれんそうの周年栽培をしている愛澤健雄さんが、令和2年度埼玉農業大賞の地域貢献部門で大賞を受賞されたので、ご紹介します。

愛澤さんは東日本大震災により、平成23年福島県浪江町から嵐山町に避難をする中、ご家族や他の避難者が未来への展望を見いだせるよう平成24年に嵐山町の古里地区の遊休農地を借り、ほうれんそうのハウス栽培を再開しました。

愛澤さん自身がモデルとなって、ほうれんそうで安定した農業経営を行うことで、町内でも生産者が増え、嵐山町の代表的な野菜として定着してきています。また規模拡大には遊休農地を活用しており、町の遊休農地解消にも大きく貢献しています。

平成29年度から始まった町の農業研修機関である「嵐山町農業担い手育成嵐丸塾」では愛澤さんが指導農家として、ハウス設置や栽培技術の指導に当たり、2名の卒業生が町内で就農しました。

愛澤さんは、今回の大賞受賞を励みとして、今後も地域生産者とともに更なる産地化を図り、流通量を増やして嵐山ブランドを定着させていきたいと意欲を語られています。



表彰式でのようす



愛澤氏とほうれん草



共に農作業をする仲間たち